

3人の逃亡者／銀行ギャングは天使を連れて（1986）

LES FUGITIFS

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 フランス

時間 90分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

出所したばかりのベテラン銀行ギャングは素人の銀行強盗事件に巻き込まれ、彼の犯行と勘違いした警官に撃たれてしまう。なんとかその場を逃げだして素人ギャングの家までやってくると、そこには母親が死んでから喋らなくなった少女がいた。と、いう物語は後にリメイクされたアメリカ版「3人の逃亡者」と一緒。主人公たちの顔や雰囲気までよく似ている。特に少女は米・仏どちらも可愛らしく、甲乙つけがたい。快テンポ、漫才のようなセリフのやり取り、一見無骨なギャングが少女をほっとけなくなる細やかな演出、とどこまでも同じ二本のうちで唯一の大きな違いは結末なのだが、のどかさや優しさに溢れたこの物語には、割り切ったオチのアメリカ版より雰囲気で終わるフランス版の方が相応しいようだ。

【クレジット】

監督	フランシス・ヴェベール	Francis Veber
製作総指揮	ジャン＝ジョゼ・リシエール	Jean-Jose Richer
脚本	フランシス・ヴェベール	Francis Veber
撮影	ルチアーノ・トヴォリ	Luciano Tovoli
音楽	ウラディミール・コスマ	Vladimir Cosma
出演	ジェラルド・ドパルデュー	Gerard Depardieu
	ピエール・リシャール	Pierre Richard
	ミシェル・ブラン	Michel Blanc
	ジャン・カルメ	Jean Carmet
	モーリス・バリエ	Maurice Barrier
	ジャン・ベンギーギ	Jean Benguigui
	ロラン・ブランシェ	Roland Blanche